



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 ユアサ・フナシヨク株式会社

コード番号 8006 URL <http://www.y-f.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 諸澤 隆芳

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 森 雅俊

TEL 047-433-1212

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	56,050	△3.7	928	30.4	987	33.2	545	20.2
22年3月期第2四半期	58,207	△2.0	712	△19.9	741	△24.3	453	13.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	11.86	—
22年3月期第2四半期	9.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	46,656	21,485	45.3	459.23
22年3月期	46,472	21,716	45.9	463.92

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 21,129百万円 22年3月期 21,344百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	8.00	8.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	116,000	1.1	1,800	10.5	1,900	9.8	1,100	9.5	23.91

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 48,977,231株 22年3月期 48,977,231株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 2,967,791株 22年3月期 2,967,178株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 46,009,859株 22年3月期2Q 46,019,760株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信では、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
四半期連結販売実績	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の日本経済は、政府の経済対策効果や新興国への輸出増加などにより、緩やかな回復が続きましたが、海外経済の減速や急激な円高の進展により回復ペースは鈍化しました。

食品流通業界におきましても、消費者の節約志向の定着に伴い低価格品へのシフトが進行するなど、依然として厳しい状況にありました。また、ビジネスホテル業界におきましても、値下げ競争が一段と激化したしました。

このような状況の中で当社グループは、首都圏を基盤に地域に密着した営業を展開する中で、新規商材の開発、コストの削減に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高560億50百万円（前年同期比3.7%減）、営業利益9億28百万円（前年同期比30.4%増）、経常利益9億87百万円（前年同期比33.2%増）、四半期純利益5億45百万円（前年同期比20.2%増）となりました。

セグメントの営業概況は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用したことに伴い、前年同期比は新セグメントに基づいて対比しております。

①商事部門

商事部門につきましては、販売競争が一層激化する中で、新規取引の獲得を推進するとともに、収益の確保、コスト管理の徹底を図ってまいりました。

売上高は、食品では猛暑の影響により飲料が増加したものの、加工食品、菓子が減少しました。業務用商品では主力の小麦粉が大幅な価格の低下により減少しました。飼料畜産では畜産は取扱数量が堅調に推移しましたが、飼料は価格低下により減少しました。また、米穀では家庭用精米、業務用精米ともに販売数量が減少しました。

その結果、商事部門の売上高は537億44百万円（前年同期比4.1%減）、営業利益は9億63百万円（前年同期比12.4%増）となりました。

②ホテル部門

ホテル部門につきましては、競合ホテルとの競争激化により客室単価は低下しましたが、ビジネス利用を中心に宿泊人数は順調に推移しました。また、グループ化したホテルサンライト新宿も好調に推移しました。

その結果、売上高は19億23百万円（前年同期比6.4%増）、営業利益は1億36百万円（前年同期比239.2%増）となりました。なお、収益が低迷していた横浜鶴見ホテルを平成22年9月末に閉店いたしました。

③不動産部門

不動産部門につきましては、賃貸料収入として売上高は3億82百万円（前年同期比3.9%増）、営業利益は3億18百万円（前年同期比0.2%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の増加10億72百万円、商品及び製品の減少1億13百万円、原材料及び貯蔵品の減少2億95百万円、未収入金の増加3億14百万円、建物及び構築物の減少1億66百万円、投資有価証券の減少8億33百万円などにより、前連結会計年度末に比べ1億83百万円増加し466億56百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金の増加7億64百万円、未払法人税等の増加2億72百万円、長期借入金の減少4億5百万円などにより、前連結会計年度末に比べ4億15百万円増加し251億70百万円となりました。純資産は、その他有価証券評価差額金の減少3億93百万円などにより、前連結会計年度末に比べ2億31百万円減少し214億85百万円となりました。自己資本比率は45.3%となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは税金等調整前四半期純利益9億31百万円、減価償却費3億54百万円、たな卸資産の増減額4億円、仕入債務の増減額7億64百万円等により19億39百万円（前年同期比6億79百万円増）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは投資有価証券の売却による収入1億22百万円などにより14百万円（前年同期比2億26百万円増）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは長期借入による収入3億円、長期借入金の返済による支出△7億50百万円、配当金の支払額△3億68百万円等により△9億20百万円（前年同期比1億59百万円減）となりました。

その結果、現金及び現金同等物の四半期末残高は47億30百万円（前年同期比6億86百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の経営環境につきましては、引き続き厳しい状況が予想されますが、収益の確保、販売費及び管理費の一層の削減に取り組んでまいります。

通期の業績予想につきましては、平成22年5月14日発表のとおり変更ありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1) 簡便な会計処理

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと考えられるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等の合理的な基準を使用して貸倒見積高を算定しております。

② 固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

③ 棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

1) 会計処理の原則・手続の変更

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

2) 表示方法等の変更

(四半期連結損益計算書)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書)

前第2四半期連結累計期間において、投資活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めて表示しておりましたが「投資有価証券の売却による収入」は、重要性が増加したため、当第2四半期連結累計期間では区分掲記することとしました。

なお、前第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含まれる「投資有価証券の売却による収入」は23百万円であります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,848	3,776
受取手形及び売掛金	12,556	12,500
有価証券	0	0
商品及び製品	1,460	1,573
仕掛品	40	31
原材料及び貯蔵品	102	397
繰延税金資産	87	72
未収入金	2,643	2,328
その他	91	63
貸倒引当金	△107	△111
流動資産合計	21,724	20,633
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,760	13,906
減価償却累計額	△8,869	△8,847
建物及び構築物(純額)	4,891	5,058
機械装置及び運搬具	1,785	1,756
減価償却累計額	△1,421	△1,375
機械装置及び運搬具(純額)	363	380
土地	10,615	10,617
その他	1,307	1,300
減価償却累計額	△1,041	△1,022
その他(純額)	266	277
有形固定資産合計	16,137	16,334
無形固定資産		
ソフトウェア	216	285
その他	172	177
無形固定資産合計	389	463
投資その他の資産		
投資有価証券	4,441	5,274
長期貸付金	494	515
繰延税金資産	941	697
差入保証金	2,482	2,504
その他	424	443
貸倒引当金	△380	△393
投資その他の資産合計	8,404	9,041
固定資産合計	24,931	25,838
資産合計	46,656	46,472

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,374	14,610
短期借入金	5,722	5,817
未払法人税等	426	154
賞与引当金	99	98
その他	1,397	1,550
流動負債合計	23,020	22,231
固定負債		
社債	40	—
長期借入金	566	972
退職給付引当金	566	547
役員退職慰労引当金	18	17
負ののれん	39	58
長期未払金	222	222
その他	698	706
固定負債合計	2,150	2,523
負債合計	25,170	24,755
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,599	5,599
資本剰余金	5,576	5,576
利益剰余金	10,598	10,420
自己株式	△622	△622
株主資本合計	21,151	20,974
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△22	370
評価・換算差額等合計	△22	370
少数株主持分	356	371
純資産合計	21,485	21,716
負債純資産合計	46,656	46,472

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	58,207	56,050
売上原価	52,293	50,204
売上総利益	5,913	5,846
販売費及び一般管理費	5,201	4,917
営業利益	712	928
営業外収益		
受取利息	20	19
受取配当金	75	78
その他	44	58
営業外収益合計	140	156
営業外費用		
支払利息	47	42
デリバティブ評価損	28	—
為替差損	23	44
その他	11	10
営業外費用合計	111	97
経常利益	741	987
特別利益		
投資有価証券売却益	1	4
貸倒引当金戻入額	—	3
特別利益合計	1	8
特別損失		
固定資産処分損	10	2
減損損失	3	2
投資有価証券評価損	—	59
特別損失合計	13	64
税金等調整前四半期純利益	729	931
法人税、住民税及び事業税	274	397
法人税等調整額	2	△1
法人税等合計	276	395
少数株主損益調整前四半期純利益	453	536
少数株主損失(△)	△0	△9
四半期純利益	453	545

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	729	931
減価償却費	325	354
減損損失	3	2
賞与引当金の増減額(△は減少)	0	0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	19	18
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1	1
貸倒引当金の増減額(△は減少)	59	△16
受取利息及び受取配当金	△96	△98
支払利息	47	42
有形固定資産除売却損益(△は益)	10	2
売上債権の増減額(△は増加)	536	△49
たな卸資産の増減額(△は増加)	520	400
その他の資産の増減額(△は増加)	△344	△303
仕入債務の増減額(△は減少)	△23	764
その他の負債の増減額(△は減少)	△14	△148
その他	53	102
小計	1,829	2,005
利息及び配当金の受取額	97	96
利息の支払額	△47	△42
法人税等の支払額	△618	△119
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,260	1,939
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△184	△34
有形固定資産の売却による収入	0	—
投資有価証券の取得による支出	△39	△2
投資有価証券の売却による収入	—	122
関係会社株式の売却による収入	7	—
貸付金の回収による収入	12	13
その他	△7	△84
投資活動によるキャッシュ・フロー	△211	14
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△144	△51
長期借入れによる収入	80	300
長期借入金の返済による支出	△283	△750
配当金の支払額	△368	△368
その他	△44	△50
財務活動によるキャッシュ・フロー	△760	△920
現金及び現金同等物に係る換算差額	△23	△30
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	265	1,003
現金及び現金同等物の期首残高	3,779	3,726
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,044	4,730

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

（単位：百万円）

	商事部門	ホテル部門	不動産部門	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	56,030	1,807	368	58,207	—	58,207
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	3	—	23	26	(26)	—
計	56,034	1,807	391	58,233	(26)	58,207
営業利益	858	28	330	1,217	(505)	712

(注) 1. 事業区分の方法

事業は市場及び販売方法の類似性により区分しております。

2. 各事業区分に属する主要な内容

事業区分	主要な商品及び役務
商事部門	米穀、小麦粉、食品、砂糖、雑穀・澱粉、飼料・畜産、油脂、化成品、燃料、運送業等。
ホテル部門	ビジネスホテル、飲食店、ボウリング場等。
不動産部門	賃貸ビル、営業倉庫。

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社等がないため該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

海外売上高がないため該当事項はありません。

〔セグメント情報〕

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、卸売事業を中核に、ホテル事業、不動産賃貸事業の3つの事業活動を展開しております。

従って、当社グループは事業の種類別のセグメントから構成されており、「商事部門」、「ホテル部門」、「不動産部門」の3部門を報告セグメントとしております。

「商事部門」は、食品・食材・酒類等の卸売を行っております。

「ホテル部門」は、ビジネスホテル・レストラン等の経営を行っております。

「不動産部門」は、不動産の賃貸事業を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

（単位：百万円）

	商事部門	ホテル部門	不動産部門	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	53,744	1,923	382	56,050	—	56,050
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	6	—	18	25	(25)	—
計	53,751	1,923	401	56,076	(25)	56,050
セグメント利益	963	136	318	1,418	(490)	928

(注) 1. セグメント利益の調整額△490百万円には、のれん償却額△4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△487百万円、その他1百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・人事・経理・情報システム部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません

4. 補足情報

四半期連結販売実績

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	当第2四半期連結会計期間 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	前第2四半期連結会計期間 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	前年同四半期比
食品(酒類・飲料含む)	35,547	36,659	97.0
業務用商品	7,777	8,443	92.1
米穀	5,290	5,638	93.8
飼料・畜産	5,129	5,290	97.0
商事部門計	53,744	56,030	95.9
ホテル部門	1,923	1,807	106.4
不動産部門	382	368	103.9
合計	56,050	58,207	96.3